

川原柴小学校 133年の歴史に幕



川原柴小学校で3月19日、最後の卒業式と休校式が行われ、133年の歴史に幕を閉じました。

卒業式では、立川信彦校長から児童へ向け、「一度きりの人生、夢を持って大切に生きてください」と激励。最後の卒業生となった藤浦航実くんは「中学生となっても在校生や先生方への感謝を忘れず、頑張ります」と謝辞を述べました。最後に、在校生3人が藤浦くんへの感謝の気持ちや小学校での思い出を込めた自作の歌を合唱し、最後の卒業式に花を添えました。

休校式では、地域の皆さんや卒業生ら約100名が参加。地域の代表としてPTA会長の佐藤淳二さんが「川原柴小学校が休校となることは、悲しい気持ちで一杯ですが、卒業生の心の中にいつまでも川原柴校をとどめてほしいと思います」とあいさつ。最後に、参加者全員で校歌を合唱し、同校との別れを惜しみました。

川原柴小学校は明治9年に創設。最盛期の昭和34年には134名の児童が在籍していましたが、平成20年度は4人に減少していました。

デ・レイケ公園完成記念事業

美馬市には、明治政府により招請され日本の河川事業に尽力したオランダ人技師「デ・レイケ」が関わったとされる「大谷川堰堤（通称：デ・レイケの堰堤）」が脇町に残されており、この堰堤を機縁にオランダとの国際交流事業を進めています。この度、大谷川堰堤の西側に「デ・レイケ公園」が完成しました。その完成を記念し、デ・レイケやオランダを紹介する記念事業を行います。

●デ・レイケ公園開園式
 とき 4月15日(水)13時30分～
 ところ デ・レイケ公園
 ※先着50名にプレゼントあり

●記念講演
 「オランダ人エッセーと
 デ・レイケが日本に伝えていたもの」
 とき 4月15日(水)14時30分～
 ところ 脇町祥雲閣 1階
 講師 上林 好之氏
 建設省時代にデ・レイケの業績に出会って以来、その業績の研究や紹介をされており、その功績をオランダ女王に認められオランダ

ナツソウ家勲爵士に列せられています。

●デ・レイケとオランダ展
 ～ Meet The Dutch ～

デ・レイケの業績やその生涯、またオランダの歴史や文化を紹介するパネル展を開催します。
 とき 4月16日～26日
 ところ パルシーセンターコート
 ※国際交流員レムコ・ライコフさんによる解説もあります。
 平日：10～12時
 土日：10～14時



●問い合わせ先
 総務課 ☎ 1212